

事業者向け 2019年度放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		知的障害児を受け入れているため完全なバリアフリーではないが、出入り口等お子様の動線の安全に努めている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		各々業務目標シートを作成、年2回の面談を実施し、業務の改善を図っている。また、日々業務内容の確認や改善の提案を行っているが、職員が更にPDCAサイクルに基づいて参画できるよう業務改善と明確化に努める。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			自己評価アンケートを基にミーティングにて周知、問題提起を行い業務の見直しを行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか				法人のホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			個別の研修計画を立て、有効に研修に参加できるようにしている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			年に1回面談時にアセスメントの確認をさせていただき、記録や日々のミーティングの情報に加え個別支援計画に反映させている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		今後の課題としてアセスメントツールを支援材料の一つとして取り入れるよう検討。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			立案担当が計画した月間プログラム予定表をミーティングにて更に詳しく共通認識できるようにする。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			メインのプログラムは大きく変えず、プログラム内の作業内容をいくつか用意し、更に個々の能力に合わせる等の工夫をしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			活動時間によってプログラム内容も変更した支援を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			プログラムにて散歩や運動遊び（ダンス）等の集団活動と創作作業の個別活動を提供し、支援計画に明記している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日行っている。また、今後は業務を円滑に行えるよう、その日の業務分担の可視化を図る。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	送迎時間による職員の退勤時間が異なるため、毎朝のミーティングにて支援の振り返りを行っている。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々、職員に記録を書くことの周知を行い、ケア会議やヒヤリハット検討の材料にし、支援の検討・改善につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に2回程度のモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			生活面(ADLの向上)や多種のプログラム設定を行い支援提供を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が参画している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			年1回行われる学校主催の連絡会に参加。学校の情報は保護者様からの情報共有がメインとなっており、学校との連携が課題と思われる。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				非該当
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	利用対象が中学生～のため、保育園等の情報共有は行っていない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			依頼があれば行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修に参加している。今後も継続して参加する予定。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	保護者様の要望がないこともあり、現在は行っていない。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			八王子市主催の子ども部会に代表者が参加し、情報共有している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送り時にお子様の活動中の様子をサービス提供記録と共に伝えるよう努めている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレント・トレーニングは行っていないが、保護者様からの相談等があった場合には助言している。
保護者への説明書	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧に説明するよう心掛けている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			○	保護者様との話せる環境作りを行い、事案によっては助言等を行えるようにしている。

眞 任 等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会等が行っていないが、法人主催の事業所説明会にご参加していただき、保護者様同士がお話をする機会を設けさせていただいた。今後も開催予定。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		玄関に苦情受付窓口ポスターを掲示している。苦情をいただいた際には記録に残し、職員全体へ周知、改善された点については保護者様へお伝えするよう適切に対応する体制を整えている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		毎月のプログラム予定表の配布や年に3回の通信発行を行っている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか		○		個人票や個別支援計画等は鍵のかかる書棚へ保管し、個人情報の扱いに注意している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		連絡帳に記載をしたり、分かりやすい言葉でお伝えするよう努めている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		現在は行っていないが、必要に応じて検討。
非 常 時 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		各種マニュアルの整備を随時行っているが、今後も保護者様へ分かりやすくお伝えしていきたい。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		年に2回の避難訓練を実施。今後は月1回の招集訓練も実施予定。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		全職員が年1回以上の虐待防止研修に参加している。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		個別支援計画に記載させていただき了承を得ている。やむを得ない事態に発展した場合は保護者様へお伝えし、記録に残すよう職員に周知している。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				非該当
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		ヒヤリハット専用ファイルを用意し職員が観覧できるようにしている。